

令和4年度 甲武信ユネスコエコパーク推進事業 実績報告



甲武信
ユネスコエコパーク

ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパークとは、「自然と人間社会の共生」を目的として、ユネスコが認定する取り組みです。具体的には、「地域の自然と文化を守りながら、地域社会の発展を目指す取り組み」で、世界では「生物圏保存地域（BR：Biosphere Reserves）」と呼ばれます。

ユネスコエコパークの3つの機能



保全機能

生物多様性の保全上重要な地域であること。



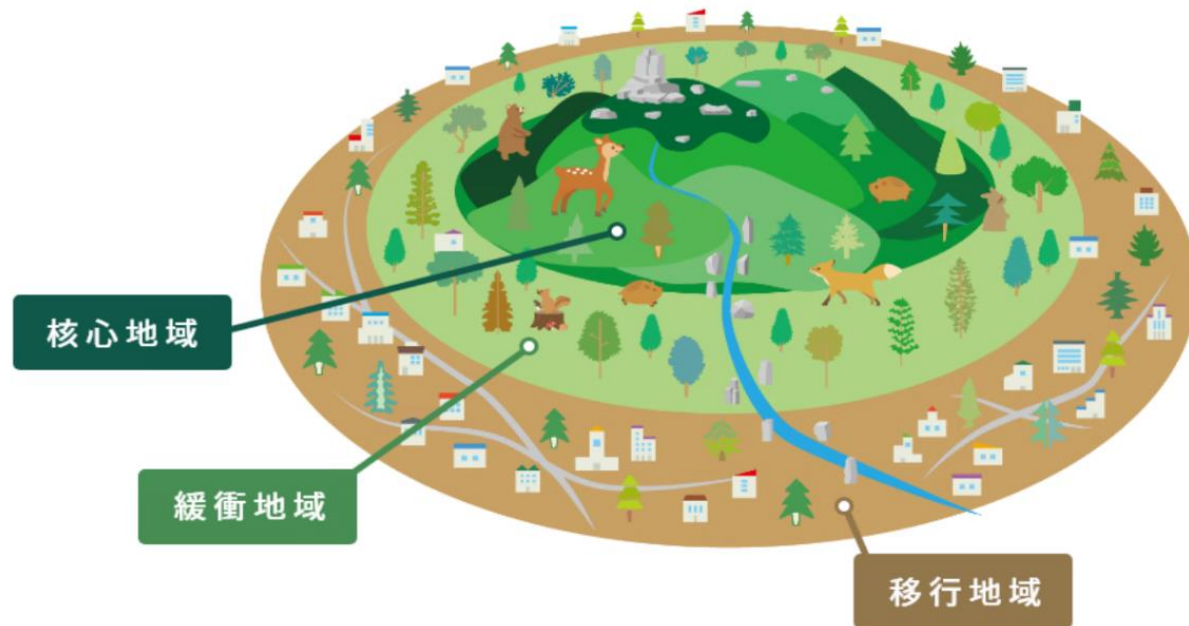
学術支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。



経済活動

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取り組みが行われていること。



■ 核心地域 ■

自然を守る

山、動物、植物などの大切な自然がたくさんあるところ

■ 緩衝地域 ■

自然を知る・感じる

自然の中で景色を楽しんだり学習したりするところ

■ 移行地域 ■

自然と暮らす

自然を活用しながら人が暮らしているところ

こぶし 甲武信ユネスコエコパークの概要

【登録日】

令和元年6月19日

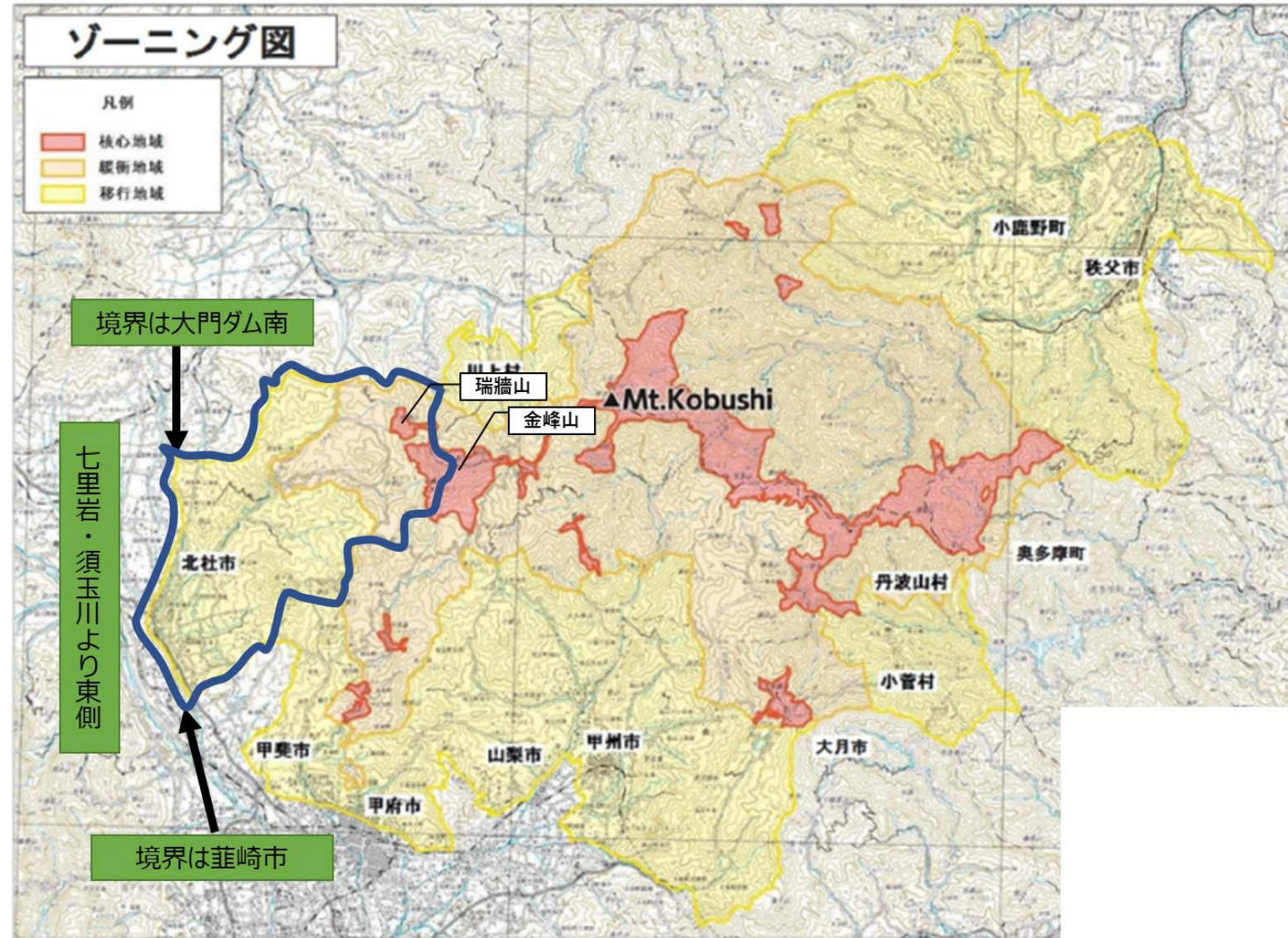
【登録エリア】

山梨県、長野県、埼玉県、東京都（1都3県の12市町村）にまたがる秩父多摩甲斐国立公園を中心とした地域です。

そのうち北杜市は、明野町と須玉町の一部が甲武信ユネスコエコパークのエリアになります。

【特徴】

- 日本最大級の面積であるスズタケ-ブナ群落！
- 日本のチョウ類の40%弱が生息、絶滅危惧種24種類！
- 大河川の源流域、首都圏を含む広大な流域の暮らしや産業を支える！
- 産学官民等による様々な活動



令和4年度 甲武信ユネスコエコパーク関連事業

事業名	科目	予算額	決算額
市1-1 森林整備等財産区活動支援事業	消耗品	1,270千円	1,014千円
市1-2 環境美化事業	消耗品他	234千円	153千円
市1-3 エリア内動植物生態系調査支援事業	補助金	1,100千円	946千円
市2-1 環境教育事業	消耗品他	123千円	25千円
市3-1 PR・情報発信事業	委託他	3,154千円	2,172千円
市5-1 関係市町村との連携事業	負担金他	288千円	221千円
地2-1 ふるさと学習勉強会事業	補助金	400千円	0千円
地3-1 活動啓発事業	補助金	450千円	212千円
地その他 北杜市甲武信ビジョン策定事業	補助金	650千円	0千円
地その他 その他	補助金	151千円	8千円

※市：市実施分 地：地域連絡会実施分 1：環境保全、2：文化教育、3：ブランド確立、4：産業振興、5：自治体連携
 ※新型コロナウイルスの影響により十分に活動できなかった事業がありました。

令和4年度 甲武信ユネスコエコパーク関連事業 主な事業内容

市1-1 森林整備等財産区活動支援事業

■ 予算額 1,270千円 決算額 1,155千円

須玉町及び明野町内の財産区、保護組合の森林保全活動の支援を行いました。
下草刈りや樹木の枝払い、道つくりの環境整備などに必要な物品購入に活用しています。

市1-2 環境美化事業

■ 予算額 234千円 決算額 153千円

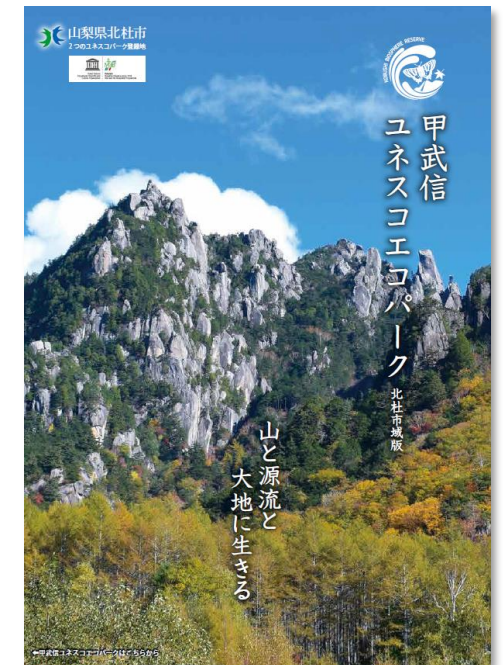
市内高校生およびユネスコエコパーク地域連絡会会員で、みずがき湖周辺の清掃活動を行いました。
また、地域の植生や外来種、エコパークについての講義も行われました。



市3-1 情報発信・活動啓発事業

■ 予算額 3,154千円 決算額 2,172千円

北杜市甲武信ユネスコエコパーク地域連絡会の設立にあたっての総会の実施や、PRのためのグッズやパンフレットの作成を行いました。



令和4年度 甲武信ユネスコエコパーク関連事業 主な事業内容

地3-1 活動啓発事業

■ 予算額 450千円 決算額 212千円

甲武信ユネスコエコパーク地域連絡会が主体となり、信玄公祭りに合わせて行われた狼煙リレーに参加しました。南アルプスユネスコエコパーク地域連絡会で上げた中山の狼煙を確認し、ハイジの村から狼煙をつなげました。



地その他 北杜市甲武信ビジョン策定事業

■ 予算額 650千円 決算額 0千円

勉強会を開催しながら、地域連絡会のメンバーで今後の活動の指針となる甲武信ビジョンの素案検討を行いました。スローガンは「山と源流と大地に生きる」とし、環境保全活動・文化教育・産業振興等を推進していくための施策などを盛り込みました。

※外注せずに地域連絡会にて策定することとなったため、決算額は0千円となっています。

※この素案を基に令和5年5月に正式に甲武信ビジョンが策定されました。



令和5年度は、甲武信ビジョンに基づき、地域連絡会が主体となって新たな事業に取り組んでいきます。